

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	光 伝導機株式会社 本社建替計画	階数	地上5F、地下0F
建設地	京都府京都市南区吉祥院石原京道町1-1、1-4、1-5	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2019年6月6日
敷地面積	3,448.63 m ²	作成者	辻野 昌洋
建築面積	1,321.20 m ²	確認日	2019年6月7日
延床面積	5,202.71 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83%

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.0
光・視環境	3.1
空気環境	3.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

機能性	3.1
耐用性	3.1
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.0

地球温暖化	3.6
地域環境	2.9
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮しF☆☆☆☆を使用している。また主要内装仕上げ材や給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	断熱性高い材料を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率83%
Q2 サービス性能	主要内装仕上げ材や給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	躯体材料は分離しやすいようにLGSを使用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される